

要 望 事 項

会派名 至 誠

事 業 名	内 容 説 明
スマート農業に対するの 助成	スマート農業は新しく設備をしなければならないが、農機具の高騰により、なかなか購入に至らない。 市の農政も色々と検討はしていると思うが、スマート農業で労力を軽減していかないと、これからの御殿場の農業は衰退していく一方である。農機具に対するの助成の検討を要望する。
総合防災システムの導入	近年、日本各地において地震はもちろん、ゲリラ豪雨や大型台風などの暴風雨による被害が多発している。 このような激甚化が続く自然災害に対して、情報共有、意思決定、住民への情報伝達など、自治体が果たす役割はますます重要になっている。 「総合防災システム」により被災情報を一元・共有化し、的確な情報の伝達・収集・整理を可能とし、迅速かつ的確に被害の全体像が把握され「助けられる命」を優先救助するとともに各種応急対策処置が実践できる。 具体的には、政府が２０２４年４月に運用を開始した、災害時に各種関係機関が円滑に連携するための「防災ＤＸ」の早期推進が緊要と思い、「総合防災システム」の早期導入を要望する。
各区より要望の市道改修 等未実施箇所の今後の施 工計画について	管理維持課によると各区より要望の市道改修等の未実施や未対応の箇所について、順次優先順位をつけて整備しているとの説明を受けた。 各区では区の総意として改修要望を提出しているところである。概ねで結構なので、改修工事実施時期をご教示願いたい。 また、実施不可能な要望については、その旨の説明をお願いしたい。

要 望 事 項

会派名 至 誠

事 業 名	内 容 説 明
救急医療対策事業について	本市の医療圏域は、県から医師少数スポットとして指定されるほど深刻な医師不足の課題を抱えており、市民の間では医療に対する不安と関心が一層高まっている。 市立病院を持たない本市では、現在、二次救急医療を民間病院と連携しながら委託という形で支えている状況であるが、近年の人件費高騰や医療環境の変化を踏まえると、既存の補助金制度のままでは現状維持が精一杯であり、抜本的な改善には到底及んでいない。 このような状況を打破し、「医師少数スポット」からの脱却を果たすとともに、市民の命と暮らしを守る体制を築くためには、本市としても従来の枠を超えた、主体的で攻めの医療政策の実行が不可欠である。 市民が「変わった」のではなく、「本市が変えた」と実感できるような、未来を見据えた医療政策の実現を、強く要望する。
産科医療への支援について	北駿唯一の産科医療機関について、不採算が深刻化しているため運営法人は撤退を示唆している。しかし、令和6年度に本市で出生した485人のうち、44.1%にあたる214人が同院で産まれており、無痛分娩などにも積極的に取り組む同院は、地域産科医療の要である。 少子化対策の観点からも、同医院の安定経営は不可欠であり、医師確保や医療設備機器の導入に伴う費用高騰が続く中、本市として引き続き積極的な財政支援を要望する。